

# 3M™ テガダーム™ I.V. コンフォート フィルム ドレッシング 使用例

## 1681 貼り方



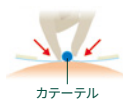
**1** ライナー紙(裏面)を剥がし粘着面を出します。



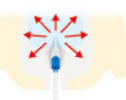
**2** 粘着剤のない部分を持ち、接続部分が切り込みから出るように、また刺入部に透明フィルム部分を合わせます。



**3** 固定力を上げるためにフィルムの上からカテーテル周囲をつまみ、よく密着させます。



**4** フィルムを皮膚に密着させるように内側から外側に空気を押し出しながら貼付します。



**5** 不織布テープの切り込み部分をカテーテルの下で沿わせるように貼付します。無理に重ね合わせる必要はありません。



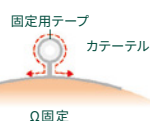
**6** 周囲をしっかりと密着させ、フィルムドレッシング周囲を押さえながらゆっくりとライナー紙(表面)のフレーム部分を剥がします。



**7** 付属の1本目の固定用テープをクッション材として接続部分の下に貼付します。

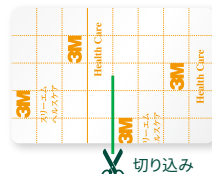


**8** 付属の2本目の固定用テープでさらにカテーテルの上からオメガ(Ω)固定します。



**9** 日付などを記載した付属の記録用ラベルを、観察の妨げにならない位置に貼付し、最後に全体を皮膚に圧着します。※1

※1  
必要に応じてサージカルテープなどで補強してください。  
予め切り込みを入れておくと固定性が良くなります。  
写真は3M™ マルチポア™ ライトブラウン 粘着性綿布伸縮  
包帯 2733-50

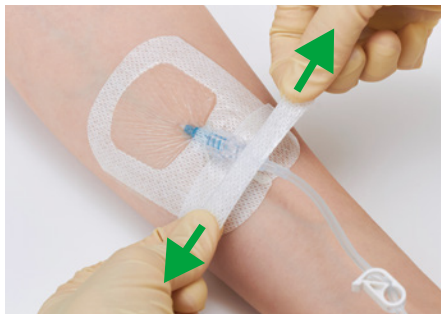


# 3M™ テガダーム™ I.V. コンフォート フィルム ドレッシング 使用例

## 1681 剥がし方



**1** 補強のテープ類や記録用ラベルを剥がします。手袋を装着した指の腹でなでるようにすると剥がしやすくなります。



**2** オメガ(Ω)固定された固定用テープは左右から剥がした後、両端を持ち引張ると剥がしやすくなります。



**3** もう一本の固定用テープを剥がします。手袋を装着した指の腹でなでるようにすると剥がしやすくなります。

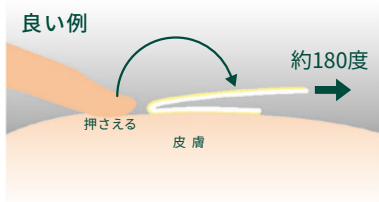


**4** 不織布の切り込み部分を片方ずつ、皮膚を押さえながら、約180度に折り返し、ゆっくりと剥がします。

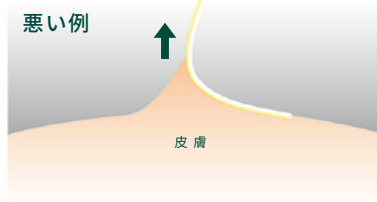


**5** 片手でカテーテルを押さえながら、残りの部分を約180度に折り返し、ゆっくりと剥がします。

### 皮膚から剥がす時のポイント



カテーテルと皮膚を押さえながら、折り返すようにゆっくりと剥がします。



皮膚に負担がかかるため真上に持ち上げたり、はやい速度で剥がさないようご注意ください。

※本資料は使用方法の一例であり、ドレッシング材およびカテーテル等の添付文書や取扱説明書をご確認の上、個々の患者背景および状態を含めた医師の総合的なご判断のもとで、固定方法をご検討ください。

一般医療機器/カテーテル被覆・保護材 届出番号: 13B1X10422000232  
販売名: テガダーム I.V. コンフォート フィルム ドレッシング

Solventumおよびそのロゴ、その製品名等に使用される商標はSolventum及びその関連会社の商標です。  
3Mおよびそのロゴは3Mおよびその関連会社の商標です。その他の商標はそれぞれの権利者の商標です。



ソルベンタム合同会社  
メディカルサージカル事業部

<https://www.solventum.com/ja-jp/home/>

スリーエムヘルスケアジャパン合同会社はソルベンタム合同会社に社名変更しました。

Please Recycle. Printed in Japan.  
© Solventum 2025. All Rights Reserved.  
HPM-556-I(1025)

2025年10月発行

カスタマーコールセンター

製品のお問い合わせはナビダイヤルで

 **0570-000-470**

9:00~17:00/月~金 (土日祝年末年始は除く)